

## サマセット・モーム全著作・翻訳書案内

\* サマセット・モーム コレクション研究会訳編『サマセット・モーム未公開短編集 11 篇の忘れ物』（創造書房、2000、2010 電子化）所収

\*\* 毛夢プロジェクト訳編『モーム初訳 6 選 埋めてしまった才能』（創造書房、2002）所収

戯曲は原則として初演年に記載

年 (年齢)	小 説	戯 曲	そ の 他
1897 (23)	<u>“Liza of Lambeth”</u> 『ライザの初恋』 (北川悌二訳、講談社文庫、1979)		
1898 (24)	<u>“The Making of a Saint”</u>		
1899 (25)	短編集① <u>“Orientations”</u> 『指針』 (田原創 他 訳、創造書房、1996、2012 電 子化)		
1900 (26)	* 短編 <u>“Cupid and the Vicar of Swale”</u> 『キューピッドとスエールの牧師』 * 短編 <u>“Lady Habart”</u> 『ハバート夫人』		
1901 (27)	<u>“The Hero”</u>		
1902 (28)	<u>“Mrs. Craddock”</u> 『クラドック夫人』 (増野正衛訳 『サマセット・モーム全集 28』、新潮社、1958)	** <u>“Marriages Are Made in Heaven”</u> [上演名 : Schiffbrüchig] 『男女の仲は神のみぞ知る』	
1903	* 短編 <u>“Pro Patria”</u> 『祖国のために』	<u>“A Man of Honour”</u>	

年 (年齢)	小 説	戯 曲	そ の 他
(29)	* 短編 “A Point of Law” 『法の焦点』		
1904 (30)	<u>“The Merry-Go-Round”</u> 『回転木馬』 (宮川誠訳、近代文芸社、2005) * 短編 “An Irish Gentleman” 『アイルランドの紳士』	** “A Rehearsal” [上演名：Mademoiselle Zampa] 『リハーサル』(小説形式)	
1905 (31)			<u>“The Land of the Blessed Virgin”</u>
1906 (32)	<u>“The Bishop's Apron”</u> * 短編 “Flirtation” 『恋の戯れ』 * 短編 “The Fortunate Painter” 『幸運な画家』 * 短編 “A Marriage of Convenience” 『便宜的な結婚』 ** 短編 “The Spanish Priest” 『スペインの僧侶』 ** 短編 “The Making of a Millionaire” 『百万長者のできるまで』		
1907 (33)	* 短編 “Good Manners” 『物腰のやわらかさ』	<u>“Lady Frederick”</u> 『フレデリック夫人』 (宮川誠訳、2015)	
1908 (34)	<u>“The Explorer”</u> 『探険家』 (宮川誠訳、近代文芸社、2000) <u>“The Magician”</u> 『魔術師』 (田中西二郎訳、ちくま文庫、1995)	<u>“Jack Straw”</u> 『ジャック・ストロウ』 (大村三保子訳、舞臺社『舞臺』1935年 11月号～1936年1月号所収) <u>“Mrs. Dot”</u> [初期名：Worthley's Estate]	

年 (年齢)	小 説	戯 曲	そ の 他
	<p>* 短編 “Cousin Amy” 『従姉のエイミ』</p> <p>* 短編 “The Happy Couple” 『幸福な夫婦』</p>	<p><u>“The Explorer”</u></p>	
1909 (35)	<p>**<u>短編“A Traveller in Romance”</u></p> <p>『ロマンスの旅人』</p>	<p><u>“Penelope”</u> [初期名 : Man and Wife]</p> <p><u>“The Noble Spaniard”</u></p> <p>[Ernest Grenet-Dancourt “Les Gaietés de veuvage” の翻案]</p> <p><u>“Smith”</u> 『スミス』</p> <p>(井出良三訳、『スミス・生計をいとなむもの』所収、英宝社、1985)</p>	
1910 (36)		<p><u>“The Tenth Man”</u></p> <p><u>“Landed Gentry”</u> [上演名 : Grace]</p>	
1911 (37)		<p><u>“Loaves and Fishes”</u></p> <p><u>“A Trip to Brighton”</u></p> <p>[Abel Tarride の劇の翻案]</p>	
1913 (39)		<p><u>“The Land of Promise”</u></p> <p><u>“The Perfect Gentleman”</u></p> <p>[モリエール『町人貴族』の翻案]</p>	
1915 (41)	<p><u>“Of Human Bondage”</u> 『人間のしがらみ』</p> <p>(全2巻、河合祥一郎訳、光文社古典新訳文庫、2022)</p>		<p>随筆 “A Choice Of Kipling’s Prose”</p>
1916		<p><u>“The Unattainable”</u> [上演名 : Caroline]</p>	

年 (年齢)	小 説	戯 曲	そ の 他
(42)			
1917 (43)		<p><b>“Our Betters” 『おえら方』</b>                      (木下順二訳『サマセット・モーム全集                      21』所収、新潮社、1956)</p> <p><b>“Mrs. Beamish”</b></p> <p><b>“Under the Circumstances” (?)</b></p>	
1918 (44)		<p><b>“Love in a Cottage”</b></p>	
1919 (45)	<p><b>“The Moon and Sixpence” 『月と六ペン                      ス』</b>                      (金原瑞人訳、新潮文庫、2014)</p>	<p><b>“Caesar's Wife”</b>                      [初期名：The Keys to Heaven、米上演                      名：Infatuation]</p> <p><b>“Home and Beauty”</b>                      [米上演名：Too Many Husbands]</p> <p><b>『夫が多すぎて』</b>                      (海保眞夫訳、岩波文庫、2001)</p> <p><b>“Not To-Night, Josephine!”</b></p>	
1920 (46)		<p><b>“The Unknown”</b></p>	<p>旅行記<b>“Andalusia: Sketches and                      Impressions”</b></p>
1921 (47)	<p><b>短編集②“The Trembling of a Leaf ; Little                      Stories of the South Sea Islands”</b>  <b>『一葉の震え—「雨」ほか、南海の小島に                      まつわる短編集—』</b>                      (小牟田康彦訳、近代文藝社、2015)</p>	<p><b>“The Circle” 『ひとめぐり』</b>                      (木下順二訳『サマセット・モーム全集                      21』所収、新潮社、1956)</p>	

年 (年齢)	小 説	戯 曲	そ の 他
1922 (48)	<p>童話 <b>“The Princess September and the Nightingale”</b> (挿絵入り単行本)                      (旅行記<b>“The Gentleman in the Parlour”</b> (1939) 所収)  <b>『九月姫とウグイス』</b> (光吉夏弥訳、武井武雄絵、岩波の子どもの本、1954)                      (旅行記『旅の本』(鷺巣尚訳、荒地出版社、1956) 所収)</p>	<p><b>“East of Suez”</b>  <b>“Rain”</b> [初期名 : Miss Thompson]                      [J.Colton と C.Randolph による同名短編小説の翻案]</p>	<p>旅行記<b>“On a Chinese Screen”</b> <b>『中国の屏風』</b>                      (小池滋訳、ちくま文庫、1996)</p>
1923 (49)		<b>“The Camel's Back”</b>	
1924 (50)		<b>“The Road Uphill”</b>	
1925 (51)	<p><b>“The Painted Veil”</b> <b>『五彩のヴェール』</b>                      (上田勤訳『サマセット・モーム全集 6』、新潮社、1955)</p>	<p><b>“The Moon and Sixpence”</b>                      [Edith Ellis による同名長編小説の翻案]</p>	
1926 (52)	<p>短編集③<b>“The Casuarina Tree”</b>  <b>『カジュアリーナ・トリー』</b>                      (中野好夫・小川和夫訳、ちくま文庫、1995)</p>	<p><b>“The Constant Wife”</b>  <b>『コンスタント・ワイフ』</b> (宮川誠訳、2016)</p>	
1927 (53)		<b>“The Letter”</b> <b>『手紙』</b> (宮川誠訳、2016)	
1928 (54)	<p>短編集④<b>“Ashenden, Or The British Agent”</b>  <b>『英国諜報員アシェンデン』</b></p>	<p><b>“The Sacred Flame”</b> <b>『聖火』</b>                      (行方昭夫訳、講談社文芸文庫、2017)</p>	

年 (年齢)	小 説	戯 曲	そ の 他
	(金原瑞人訳、新潮文庫、2017)	<b>“The Force of Nature”</b>	
1930 (56)	<b>“Cakes and Ale” 『お菓子とビール』</b> (行方昭夫訳、岩波文庫、2011)	<b>“The Breadwinner” 『働き手』</b> (行方昭夫訳、『報いられたもの／働き手』 所収、講談社文芸文庫、2018)	旅行記 <b>“The Gentleman in the Parlour”</b> <b>『旅の本』</b> (鷺巣尚訳、荒地出版社、1956)
1931 (57)	<b>短編集⑤ “Six Stories Written in the First Person Singular” 『一人称単数』</b> (龍口直太郎訳『モーム短篇集IX・X』、新潮文庫、1960・1961)	<b>“The Painted Veil”</b> [Bartlett Cormack とモームによる同名長編小説の翻案]	
1932 (58)	<b>“The Narrow Corner” 『片隅の人生』</b> (天野隆司訳、ちくま文庫、2015)	<b>“For Services Rendered”</b> <b>『報いられたもの』</b> (行方昭夫訳、『報いられたもの／働き手』 所収、講談社文芸文庫、2018)	
1933 (59)	<b>短編集⑥ “Ah King” 『アー・キン』</b> (増野正衛訳、ちくま文庫、1995)	<b>“The Mask and the Face”</b> [ルイージ・キアレリ 『仮面と素顔』の翻訳] <b>“Sheppey” 『シェピー』</b> (瀬口城一郎訳、『サマセット・モーム全集22』所収、新潮社、1955) <b>“Ashenden”</b> [Gerge Cambell Dixon による同名短編集の翻案]	選集 <b>“Traveller's Library”</b> 序文集 <b>“Selected Prefaces and Introductions Of W. Somerset Maugham”</b>
1934 (60)	** <b>短編 “The Buried Talent”</b> <b>『埋めてしまった才能』</b>		
1935 (61)			旅行記 <b>“Don Fernando”</b> <b>『ドン・フェルナンドの酒場で』</b>

年 (年齢)	小 説	戯 曲	そ の 他
			(増田義郎訳、原書房、2006)
1936 (62)	<u>短編集⑦“Cosmopolitans”</u> <u>『コスモポリタンズ』</u> (龍口直太郎訳、ちくま文庫、1994)		
1937 (63)	<u>“Theatre” 『劇場』</u> (龍口直太郎訳、新潮文庫、2006)		
1938 (64)			<u>回想録“The Summing Up”</u> <u>『サミング・アップ』</u> (行方昭夫訳、岩波文庫、2007)
1939 (65)	<u>“Christmas Holiday” 『クリスマスの休暇』</u> (中村能三訳、新潮文庫、1964)		<u>モーム編短編小説選集“Tellers of Tales”</u> <u>『世界 100 物語』</u> (全 8 巻、モームによる「解題」は中野好夫訳、河出書房新社、1996-7)
1940 (66)	<u>短編集⑧ “The Mixture as Before”</u> <u>『変りばえせぬ話』</u> (田中西二郎訳『モーム短篇集 X III・X IV』、新潮文庫、1963)		<u>ルポ “France at War” 『戦うフランスの姿』</u> (井出良三訳、あぼろん社、1995) <u>随筆集“Books and You”</u> <u>『読書案内 世界文学』</u> (西川正身訳、岩波文庫、1997)
1941 (67)	<u>“Up At the Villa” 『女ごころ』</u> (尾崎寔訳、ちくま文庫、2014)	<u>“Theatre”</u> (英上演名 : Larger than Life) [Guy Bolton による同名長編小説の翻案]	<u>週刊誌掲載追想録 “The Death of a Nation”</u> <u>『亡命作家の手記』</u> (井上英三訳、人文書院、1941)

年 (年齢)	小 説	戯 曲	そ の 他
			上の書籍化“ <a href="#">Strictly Personal</a> ” 『極めて個人的な話』 (井上宗次訳『サマセット・モーム全集』 別巻、新潮社、1964)
1942 (68)	“ <a href="#">The Hour before the Dawn</a> ” 『夜明け前のひととき』 (井出良三訳、リーベル出版、1992)		
1943 (69)			モーム編英米文学選集“ <a href="#">Great Modern Reading: W. Somerset Maugham's Introduction to English and American Literature</a> ” 『S.モームが薦めた米国短篇』 (小牟田康彦編・訳・解説、未知谷、 2017、原著の内、アメリカ短編小説6編の 翻訳)
1944 (70)	“ <a href="#">The Razor's Edge</a> ” 『かみそりの刃』 (全2巻、中野好夫訳、ちくま文庫、 1995)		
1945 (71)			序文“ <a href="#">The Memoirs of Aga Khan: World Enough and Time</a> ”
1946 (72)	“ <a href="#">Then and Now</a> ” 『昔も今も』 (天野隆司訳、ちくま文庫、2011)	“ <a href="#">Jane</a> ” [S. N. Behrman による同名短編 小説の翻案]	
1947	短編集⑨“ <a href="#">Creatures of Circumstance</a> ”		

年 (年齢)	小 説	戯 曲	そ の 他
(73)	『 <b>環境の産物</b> 』 (中野好夫・小川和夫訳『サナトリウム・ 五十女』『凧・冬の船旅』『大佐の奥方・母 親』、英宝社、1955-6)		
1948 (74)	“ <b>Catalina</b> ”『 <b>カタリーナ</b> 』 (大久保康雄訳『サマセット・モーム全集 14』、新潮社、1956)	短編・映画脚本集 “ <b>Quartet</b> ”	随筆集“ <b>Great Novelists and Their Novels</b> ”
1949 (75)		“ <b>Before the Party</b> ” [Rodney Ackland に よる同名短編小説の翻案]	覚え書“ <b>A Writer's Notebook</b> ”『 <b>作家の手 帳</b> 』 (中村佐喜子訳、新潮文庫、1969)
1950 (76)		短編・映画脚本集“ <b>Trio</b> ”	
1951 (77)		短編・映画脚本集 “ <b>Encore</b> ”	講演録 “ <b>The Writer's Point of View</b> ” 『 <b>作家の立場から</b> 』 (龍口直太郎訳『サマセット・モーム全集 27』所収、新潮社、1959)
1952 (78)			随筆集 “ <b>A Choice of Kipling's Prose</b> ” 随筆集“ <b>The Vagrant Mood</b> ”『 <b>人生と文学</b> 』 (龍口直太郎訳『サマセット・モーム全集 27』所収、新潮社、1959)
1954 (80)			随筆集 “ <b>Ten Novels and Their Authors</b> ” 『 <b>世界の十大小説</b> 』 (全2巻、西川正身訳、岩波文庫、1997)

年 (年齢)	小 説	戯 曲	そ の 他
			随筆集 <b>“The Partial View”</b>
1955 (81)			旅行記集 <b>“The Travel Books”</b>
1958 (84)			評論集 <b>“Points of View”</b> 『作家の立場から』 (田中西二郎訳『サマセット・モーム全集』別巻、新潮社、1962)
1962 (88)			回想録 <b>“Looking Back”</b> 『回想』 (田中睦夫訳、河出書房新社『文藝』1963年1～7月号所収) 蒐集画集 <b>“Purely for My Pleasure”</b> 『ただ見て楽しむために—絵画蒐集約半世紀のいきさつ』 (井出良三訳、甲南大学紀要文学編8号、1973)
1963 (89)			序文集 <b>“Selected Prefaces and Introductions”</b>
1969 (没後)	短編集 <b>“Seventeen Lost Stories”</b> [処女短編集 <b>“Orientations”</b> の6編と短編集に収録されなかった11編を収録。翻訳は <b>『指針』</b> (創造書房、1996、2012 電子化) と * <b>『サマセット・モーム未公開短編集 11 篇の忘れ物』</b> (創造書房、2000、2010 電子化)		

年 (年齢)	小 説	戯 曲	そ の 他
	で読める。上に個別に表示してある。]		
1984 (没後)	拾遺集 “A Traveller in Romance, uncollected writings 1901-1964” [書籍化されなかった多岐にわたる文章 63 編を収録。その内、短編小説 4 編と戯曲 2 編は**『モーム初訳 6 選 埋めてしまった才能』(創造書房、2002) として翻訳があり、上に個別に表示してある。]		
2014 (没後)		“Of Human Bondage” [Vern Thiessen による同名長編小説の翻案]	

(注) “Daily Mail”紙の 1922 年 1 月 31 日号にモームの“My South Sea Island”という‘article’が掲載された。モームが一時的に南太平洋の小さな島を借り受けた時の話が書かれている。新潮社版『サマセット・モーム全集 31 モーム研究』(1959)では、これを「エッセイ・旅行記」の区分に入れている。また、1936 年に同名の書籍が出版されており、[The British Library](#)によると、片面印刷 12 ページの薄い本で、50 冊の限定版だったようだ。田中一郎著『秘密諜報員 サマセット・モーム』(河出書房新社、1996)では、これを‘short story’としている。

## オリジナル短編集収録作品リスト

年 (年齢)	短 編 集 名	収 録 作 品 名	邦 題
1899 (25)	短編集①“Orientations” 『指針』 (田原創 他 訳、創造書房、1996、2012 電子化)	<u>The Punctiliousness of Don Sebastian</u>	ドン・セバスティアンの礼儀 (佐藤裕子訳)
		<u>A Bad Example</u>	悪例 (田原創訳)
		<u>De Amicitia</u>	友情 (小田由里子訳)
		<u>Faith</u>	信仰 (船波恵子訳)
		<u>The Choice of Amyntas</u>	アミンタスの選択 (薬師寺里依訳)
		<u>Daisy</u>	デイジー (乙峰綾夏訳)
1921 (47)	短編集②“ <u>The Trembling of a Leaf ; Little Stories of the South Sea Islands</u> ” 『一葉の震え-「雨」ほか、南海の小島にまつわる短編集-』 (小牟田康彦訳、近代文藝社、2015)	The Pacific	太平洋
		<u>Mackintosh</u>	マッキントッシュ
		The Fall of Edward Barnard	エドワード・バーナードの凋落
		Red	<u>レッド</u>
		The Pool	小川の淵
		<u>Honolulu</u>	ホノルル
		<u>Rain</u>	雨
		Envoi	エピローグ
1926 (52)	短編集③“ <u>The Casuarina Tree</u> ” 『カジュアリーナ・トリー』 (田中西二郎訳、ちくま文庫、1995)	<u>The Letter</u>	手紙
		<u>P.&amp;O.</u>	P・&・O
		<u>The Force of Circumstance</u>	環境の力
		<u>The Outstation</u>	奥地駐屯所
		<u>The Yellow Streak</u>	臆病者
		<u>Before the Party</u>	園遊会まで

年 (年齢)	短 編 集 名	収 録 作 品 名	邦 題
1928 (54)	短編集④“ <u>Ashenden, Or The British Agent</u> ” 『 <u>英国諜報員アシェンデン</u> 』 (金原瑞人訳、新潮文庫、2017)	<u>R</u>	R
		<u>A Domiciliary Visit</u>	警察の捜査
		<u>Miss King</u>	ミス・キング
		<u>The Hairless Mexican</u>	ヘアレス・メキシカン
		<u>The Dark Woman</u>	黒い髪の女
		<u>The Greek</u>	ギリシア人のスパイ
		<u>A Trip to Paris</u>	パリ旅行
		<u>Giulia Lazzari</u>	ジュリア・ラツァーリ
		<u>Gustav</u>	グスタフ
		<u>The Traitor</u>	裏切り者
		<u>Behind the Scenes</u>	その背後で
		<u>His Excellency</u>	英国大使
		<u>The Flip of a Coin</u>	コインの裏表
		<u>A Chance Acquaintance</u>	シベリア鉄道
<u>Love and Russian Literature</u>	愛とロシア文学		
<u>Mr. Harrington's Washing</u>	ハリントンの洗濯		
1931 (57)	短編集⑤ “ <u>Six Stories Written in the First Person Singular</u> ” 『 <u>一人称単数</u> 』 (龍口直太郎訳『モーム短篇集IX・X』、新潮文庫、1960・1961)	Virtue	美德
		The Round Dozen	十二人目の妻
		The Human Element	人間的要素
		Jane	ジェーン
		The Alien Corn	変り種
		The Creative Impulse	創作衝動
1933	短編集⑥“ <u>Ah King</u> ” 『 <u>アー・キン</u> 』	Footprints in the Jungle	密林の足跡

年 (年齢)	短 編 集 名	収 録 作 品 名	邦 題
(59)	(増野正衛訳、ちくま文庫、1995)	The Door of Opportunity	機会の扉
		The Vessel of Wrath	怒りの器
		The Book-Bag	書物袋
		The Back of Beyond	この世の果て
		Neil MacAdam	ニール・マックアダム
1936 (62)	<p>短編集⑦“<u>Cosmopolitans</u>” 『<u>コスモポリタnz</u>』 (龍口直太郎訳、ちくま文庫、1994)</p>	Raw Material	素材
		Mayhew	弁護士メイヒュー
		German Harry	隠者ハリー
		The Happy Man	幸福者
		The Dream	夢
		In a Strange Land	異国の土
		The Luncheon	ランチ
		Salvatore	漁師の子サルヴァトーレ
		Home	生家
		Mr.Know-All	<u>物識先生</u>
		The Escape	家探し
		A Friend in Need	困ったときの友
		The Portrait of a Gentleman	ある紳士の自画像
		The End of the Flight	落ち行くさき
		The Judgment Seat	審判の座
		The Ant and the Grasshopper	蟻とキリギリス
		French Joe	フランス人ジョウ
The Man with the Scar	傷痕のある男		

年 (年齢)	短 編 集 名	収 録 作 品 名	邦 題
		The Poet	詩人
		Louise	ルイーズ
		The Closed Shop	店じまい
		The Promise	約束
		A String of Beads	真珠の首飾り
		The Bum	物もらい
		Straight Flush	ストレート・フラッシュ
		The Verger	会堂守り
		The Wash-Tub	洗濯盥
		The Social Sense	社交意識
		The Four Dutchman	四人のオランダ人
1940 (66)	短編集⑧ “The Mixture as Before” 『変りばえせぬ話』 (田中西二郎訳『モーム短篇集XIII・XIV』、 新潮文庫、1963)	<u>The Three Fat Women of Antibes</u>	三人の肥った女
		A Man with a Conscience	良心的な男
		<u>The Treasure</u>	掘りだしもの
		The Lotus Eater	ロータス・イーター
		The Lion's Skin	獅子の皮
		Gigolo and Gigolette	ジゴロとジゴレット
		The Voice of the Turtle	山鳩の声
		The Facts of Life	人生の実相
		Lord Mountdrago	マウントドレイゴ卿の死
An Official Position	幸福		
1947 (73)	短編集⑨ “ <u>Creatures of Circumstance</u> ” 『環境の産物』	The Colonel's Lady	大佐の奥方 (中野好夫訳)
		Flotsam and Jetsam	根なし草 (小川和夫訳)

年 (年齢)	短 編 集 名	収 録 作 品 名	邦 題
	(中野好夫・小川和夫訳『サナトリウム・五十女』『凧・冬の船旅』『大佐の奥方・母親』、英宝社、1955-6)	Appearance and Reality	仮象と現実
		The Mother	母親 (中野好夫訳)
		<u>Sanatorium</u>	サナトリウム
		A Woman of Fifty	五十女
		The Romantic Young Lady	ロマンチックな令嬢
		A Casual Affair	思いがけぬ出来事
		The Point of Honour	体面 (小川和夫訳)
		Winter Cruise	冬の船旅 (中野好夫訳)
		<u>The Happy Couple</u>	幸福な夫婦 (小川和夫訳)
		A Man from Glasgow	グラスゴウ生まれの男
		The Unconquered	征服されざる者 (小川和夫訳)
		<u>Episode</u>	エピソード (小川和夫訳)
		<u>The Kite</u>	凧 (中野好夫訳)

## 短編アンソロジー (1)

短 編 集 名	収 録 作 品 名	邦 題
* 『サマセット・モーム未公開短編集 11 篇 の忘れ物』 (サマセット・モーム コレクション研究会 訳編、創造書房、2000、2010 電子化)	<u>Cupid and the Vicar of Swale</u> (1900)	キューピッドとスエールの牧師 (安西利香訳)
	Lady Habart (1900)	ハバート夫人 (田原創訳)
	Pro Patria (1903)	祖国のために (杉山一郎訳)
	A Point of Law (1903)	法の焦点 (杉山一郎)
	An Irish Gentleman (1904)	アイルランドの紳士 (安西利香訳)
	Flirtation (1906)	恋の戯れ (野口知美訳)
	The Fortunate Painter (1906)	幸運な画家 (杉山一郎訳)
	The Marriage of Convenience (1906)	便宜的な結婚 (安西利香訳)
	Good Manners (1907)	物腰のやわらかさ (野口知訳)
	Cousin Amy (1908)	従姉のエイミ (田原創訳)
** 『モーム初訳 6 選 埋めてしまった才能』 (毛夢プロジェクト訳編、創造書房、2002)	<u>The Buried Talent</u> (1934)	埋めてしまった才能 (安西利香訳)
	The Spanish Priest (1906)	スペインの僧侶 (安西利香訳)
	The Making of a Millionaire (1906)	百万長者のできるまで (野口知美訳)
	<u>A Traveller in Romance</u> (1909)	ロマンスの旅人 (西谷顕訳)
	(小説形式の 1 幕劇) <u>A Rehearsal</u> (1905)	リハーサル (安西利香・西谷顕・田原創訳)
	(1 幕劇) <u>Marriages Are Made in Heaven</u> (1903)	男女の仲は神のみぞ知る (西谷顕・野口知美・田原創・安西利香訳)

## 短編アンソロジー (2)

原 題	『モーム短篇選 (上) (下)』 (行方昭夫編訳、岩波文庫、 2008)	『マウントドレイゴ卿／パーティ の前に』(木村政則訳、 光文社古典新訳文庫、2011)	『ジゴロとジゴレット モーム傑 作選』 (金原瑞人訳、新潮文庫、2015)
The Fall of Edward Barnard (②)	(上) (1) エドワード・バーナードの転落		
Rain (②)		(5) 雨	
The Letter (③)	(上) (2) 手紙		
The Force of Circumstance (③)	(上) (3) 環境の力		
Before the Party (③)		(3) パーティの前に	
The Princess September and the Nightingale (挿絵入り単行本、1922) (※)	(上) (4) 九月姫		
Jane (⑤)	(上) (5) ジェーン	(1) ジェイン	(7) ジェイン
The Round Dozen (⑤)	(上) (6) 十二人目の妻		
Mr.Know-All (⑦)	(下) (1) 物知り博士		
The Poet (⑦)	(下) (2) 詩人		
The Luncheon (⑦)	(下) (3) ランチ		
Salvatore (⑦)	(下) (4) 漁夫サルヴァトーレ		
The Ant and the Grasshopper (⑦)	(下) (5) 蟻とキリギリス		
Lord Mountdrago (⑧)	(下) (6) マウントドレイゴ卿	(2) マウントドレイゴ卿	(4) マウントドラーゴ卿

原 題	『モーム短篇選 (上) (下)』 (行方昭夫編訳、岩波文庫、 2008)	『マウントドレイゴ卿／パーテ ィの前に』(木村政則訳、 光文社古典新訳文庫、2011)	『ジゴロとジゴレット モーム傑 作選』 (金原瑞人訳、新潮文庫、2015)
Gigolo and Gigolette (⑧)	(下) (7) ジゴロとジゴレット		(8) ジゴロとジゴレット
The Lotus Eater (⑧)	(下) (8) ロータス・イーター		
<u>The Treasure</u> (⑧)		(6) 掘り出しもの	
<u>The Three Fat Women of Antibes</u> (⑧)			(1) アンティープの三人の太った女
The Voice of the Turtle (⑧)			(3) キジバトのような声
A Man with a Conscience (⑧)			(5) 良心の問題
<u>Sanatorium</u> (⑨)	(下) (9) サナトリウム		(6) サナトリウム
The Colonel's Lady (⑨)	(下) (10) <u>大佐の奥方</u>		
A Woman of Fifty (⑨)	(下) (11) 五十女		
Winter Cruise (⑨)	(下) (12) 冬の船旅		
<u>The Happy Couple</u> (⑨)		(4) 幸せな二人	
The Unconquered (⑨)			(2) 征服されざる者

(注) 所収オリジナル短編集

- ① “Orientations” 『指針』 (1899)
- ② “The Trembling of a Leaf ; Little Stories of the South Sea Islands” 『一葉の震え—「雨」ほか、南海の小島にまつわる短編集—』 (1921)
- ③ “The Casuarina Tree” 『カジュアリーナ・トリー』 (1926)
- ④ “Ashenden, Or The British Agent” 『英国諜報員アシェンデン』 (1928)
- ⑤ “Six Stories Written in the First Person Singular” 『一人称単数』 (1931)
- ⑥ “Ah King” 『アー・キン』 (1933)
- ⑦ “Cosmopolitans” 『コスモポリタンズ』 (1936)

- ⑧ “The Mixture as Before” 『変りばえせぬ話』 (1940)
- ⑨ “Creatures of Circumstance” 『環境の産物』 (1947)
- ※ “The Princess September and the Nightingale” は、旅行記“The Gentleman in the Parlour” 『旅の本』 (1930) にも収められている。

## 新潮文庫

巻	初版	タイトル	訳者	原 著
A	1959	人間の絆 I (2007 改版)	中野 好夫	<u>Of Human Bondage</u> (1915)
B	1959	人間の絆 II (2007 改版)		
C	1959	人間の絆 III (2007 改版)		
D	1960	人間の絆 IV (2007 改版)		
E	1959	月と六ペンス (2010 改版)	中野 好夫	<u>The Moon and Sixpence</u> (1919)
F	1960	女ごころ	龍口直太郎	<u>Up At the Villa</u> (1941)
G	1959	お菓子と麦酒	上田 勤	<u>Cakes and Ale</u> (1930)
H	1959	モーム短篇集 I 雨・赤毛 (2012 改版)	中野 好夫	<u>The Trembling of a Leaf</u> (1921)
I	1960	モーム短篇集 II 太平洋	河野 一郎	
J	1961	モーム短篇集 III 手紙・環境の力	田中西二郎	<u>The Casuarina Tree</u> (1926)
K	1961	モーム短篇集 IV 園遊会まで	田中西二郎	
L	1963	モーム短篇集 V アシェンデン I	河野 一郎	<u>Ashenden, Or The British Agent</u> (1928)
M	1963	モーム短篇集 VI アシェンデン II	河野 一郎	
N	1960	モーム短篇集 VII 怒りの器	増野 正衛	<u>Ah King</u> (1933)
O	1960	モーム短篇集 VIII この世の果て	増野 正衛	
P	1960	モーム短篇集 IX 十二人目の妻	龍口直太郎	<u>Six Stories Written in the First Person Singular</u> (1931)
Q	1961	モーム短篇集 X 人間的要素	龍口直太郎	
R	1962	モーム短篇集 X I コスモポリタン I	龍口直太郎	<u>Cosmopolitans</u> (1936)
S	1962	モーム短篇集 X II コスモポリタン II		
T	1963	モーム短篇集 X III ジゴロとジゴレット	田中西二郎	<u>The Mixture as Before</u> (1940)
U	1963	モーム短篇集 X IV 人生の実相	田中西二郎	

巻	初版	タイトル	訳者	原 著
V	1960	劇場 <u>(2006 改版)</u>	龍口直太郎	<u>Theatre</u> (1937)
W	1968	要約すると	中村 能三	<u>The Summing Up</u> (1938)
X	1969	作家の手帳	中村佐喜子	<u>A Writer's Notebook</u> (1949)
Y	1965	剃刀の刃 I	斎藤 三夫	<u>The Razor's Edge</u> (1944)
Z	1965	剃刀の刃 II		
	1963	昔も今も	清水 光	<u>Then and Now</u> (1946)
	1964	クリスマスの休暇	中村 能三	<u>Christmas Holiday</u> (1939)
	2014	<u>月と六ペンス</u>	金原 瑞人	<u>The Moon and Sixpence</u> (1919)
	2015	<u>ジゴロとジゴレット モーム傑作選</u>	金原 瑞人	短編アンソロジー
	2017	<u>英国諜報員アシェンデン</u>	金原 瑞人	<u>Ashenden, Or The British Agent</u> (1928)
	2021	<u>人間の絆</u>	金原 瑞人	<u>Of Human Bondage</u> (1915)

## 岩波文庫

No.3～5 は岩波新書の復刊

赤 254	初版	タ イ ト ル	訳 者	原 著
1	1962	雨・赤毛 他一篇	朱牟田夏雄	“ <u>Rain</u> ” (1921) “ <u>Red</u> ” (1921) “ <u>Mackintosh</u> ” (1920)
2	2005	<u>月と六ペンス</u>	行方 昭夫	<u>The Moon and Sixpence</u> (1919)
3	1997	<u>読書案内 世界文学</u>	西川 正身	<u>Books and You</u> (1940)
4	1997	<u>世界の十大小説</u> (上)	西川 正身	<u>Ten Novels and Their Authors</u> (1954)
5	1997	<u>世界の十大小説</u> (下)		
6	2001	<u>人間の絆</u> (上)	行方 昭夫	<u>Of Human Bondage</u> (1915)
7	2001	<u>人間の絆</u> (中)		
8	2001	<u>人間の絆</u> (下)		
9	2001	<u>夫が多すぎて</u>	海保 眞夫	<u>Home and Beauty</u> (1919)
10	2007	<u>サミング・アップ</u>	行方 昭夫	<u>The Summing Up</u> (1938)
11	2008	<u>モーム短篇選</u> (上)	行方 昭夫	短編アンソロジー
12	2008	<u>モーム短篇選</u> (下)		
13	2008	<u>アシェンデン 英国情報部員のファイル</u>	中島 賢二 岡田 久雄	<u>Ashenden, Or The British Agent</u> (1928)
14	2011	<u>お菓子とビール</u>	行方 昭夫	<u>Cakes and Ale</u> (1930)

## ちくま文庫

No.1～2,5 は新潮文庫、No.3～4 は講談社文庫、No.6 は英宝社、No.7 は国書刊行会から出ていたものの復刊

も 12	初版	タ イ ト ル	訳 者	原 著
1	1994	アシェンデン 英国秘密情報部員の手記	河野 一郎	<u>Ashenden, Or The British Agent</u> (1928)
2	1994	コスモポリタNZ	龍口直太郎	<u>Cosmopolitans</u> (1936)
3	1995	かみそりの刃 (上)	中野 好夫	<u>The Razor's Edge</u> (1944)
4	1995	かみそりの刃 (下)		
5	1995	アー・キン	増野 正衛	<u>Ah King</u> (1933)
6	1995	カジュアリーナ・トリー	中野 好夫 小川 和夫	<u>The Casuarina Tree</u> (1926)
7	1995	魔術師	田中西二郎	<u>The Magician</u> (1908)
8	1996	<u>中国の屏風</u>	小池 滋	<u>On a Chinese Screen</u> (1922)
9	2011	<u>昔も今も</u>	天野 隆司	<u>Then and Now</u> (1946)
10	2014	<u>女ごころ</u>	尾崎 寔	<u>Up At the Villa</u> (1941)
11	2015	<u>片隅の人生</u>	天野 隆司	<u>The Narrow Corner</u> (1932)

新潮社『サマセット・モーム全集』

巻	初版	タイトル	訳者	原著
1	1955	ラムベスのライザ	田中西二郎	<u>Liza of Lambeth</u> (1897)
2	1954	人間の絆 I	中野 好夫	<u>Of Human Bondage</u> (1915)
3	1954	人間の絆 II	中野 好夫	
4	1954	人間の絆 III	中野 好夫	
5	1956	月と六ペンス	中野 好夫	<u>The Moon and Sixpence</u> (1919)
6	1955	五彩のヴェール	上田 勤	<u>The Painted Veil</u> (1925)
7	1955	お菓子と麦酒	上田 勤	<u>Cakes and Ale</u> (1930)
8	1956	片隅の人生	増田 義郎	<u>The Narrow Corner</u> (1932)
9	1954	劇場	龍口直太郎	<u>Theatre</u> (1937)
10	1954	クリスマスの休暇	中村 能三	<u>Christmas Holiday</u> (1939)
11	1954	剃刀の刃 I	斎藤 三夫	<u>The Razor's Edge</u> (1944)
12	1955	剃刀の刃 II	斎藤 三夫	
13	1955	昔も今も	清水 光	<u>Then and Now</u> (1946)
14	1956	カタリーナ	大久保康雄	<u>Catalina</u> (1948)
15	1956	短篇集 I 雨・赤毛	河野 一郎 中野 好夫	<u>The Trembling of a Leaf</u> (1921)
16	1955	短篇集 II 手紙・園遊会まで	田中西二郎	<u>The Casuarina Tree</u> (1926)
17	1955	短篇集 III アシェンデン	河野 一郎	<u>Ashenden, Or The British Agent</u> (1928)
18	1956	短篇集 IV 怒りの器	増野 正衛	<u>Ah King</u> (1933)
19	1955	短篇集 V 女ごころ	龍口直太郎	<u>Up At the Villa</u> (1941) <u>The Creative Impulse</u> (1931)

巻	初版	タイトル	訳者	原 著
				The Alien Corn (1931) The Round Dozen (1931)
20	1955	短篇集VI コスモポリタン	龍口直太郎	<u>Cosmopolitans</u> (1936)
21	1956	戯曲集I ひとめぐり・おえら方	木下 順二	<u>Our Betters</u> (1917) <u>The Circle</u> (1921)
22	1955	戯曲集II シェピー	木下 順二 瀬口城一郎	For Services Rendered (1932) Sheppey (1933)
23	1957	チャイニーズ・スクリーン	大沢 衛	<u>On a Chinese Screen</u> (1922)
24	1956	ドン・フェルナンド	安藤 一郎	<u>Don Fernando</u> (1935)
25	1955	要約すると	中村 能三	<u>The Summing Up</u> (1938)
26	1955	作家の手帖	中村佐喜子	<u>A Writer's Notebook</u> (1949)
27	1959	人生と文学	龍口直太郎	The Writer's Point of View (1951) <u>The Vagrant Mood</u> (1952)
28	1958	クラドック夫人	増野 正衛	<u>Mrs. Craddock</u> (1902)
29	1958	魔術師	田中西二郎	<u>The Magician</u> (1908)
30	1958	短篇集VII ジゴロとジゴレット	田中西二郎	The Mixture as Before (1940)
31	1959	モーム研究	後藤 武士 増野 正衛 (編)	日本人研究者による論文集
別	1962	作家の立場から	田中西二郎	<u>Points of View</u> (1958)
別	1964	極めて個人的な話	井上 宗次	<u>Strictly Personal</u> (1941)

## 梗概集

- ① 越川正三著『サマセット・モームの小説群』（関西大学出版部、1985）

本邦未訳の“The Making of a Saint”（1898）、“The Hero”（1901）、“The Bishop's Apron”（1906）を含む長・中編小説全 20 編

- ② 越川正三著『サマセット・モームの短編小説群』（関西大学出版部、1991）

オリジナル短編集（全 9 巻）に収められた（The Trembling of a Leaf の “Envoi” を除く）101 編とそのほかの 16 編を合わせた短編小説全 117 編  
[すべて翻訳書がある]

- ③ 山本修二注『Our Betters & The Circle』（研究社出版、1955）

“The Collected Plays”（Heinemann、1931、1952reprint）に収められた戯曲全 18 編

- ④ “Theatrical Companion to Maugham”（Rockliff、1955）

モームが執筆したもの、他人の戯曲をモームが翻訳したもの、モームの作品を他人が脚色したもの全 39 編。  
作品ごとの梗概のほか、初演当時の上演状況、出版の有無も記載されている。

- ⑤ 『サマセット・モーム戯曲梗概集』（「サマセット・モーム翻訳公開ブログ」）

モームが執筆したもの、他人の戯曲をモームが翻訳したもの、モームの作品を他人が脚色したもののすべてと思われる全 49 編。  
作品ごとの梗概のほか、初演当時の上演状況、出版の有無、翻訳書や日本での上演歴も記載されている。